

晴耕雨読 34

発行:株式会社 建設プロジェクトセンター
建設コンサルタント・補償コンサルタント・測量業登録
〒869-1234
熊本県菊池郡大津町引水215-1(技術研究所)
本社:熊本市/八代支店/合志営業所
TEL:096-293-4400/FAX:096-293-4885
E-mail:kenpro@muc.biglobe.ne.jp

◆知識力と思考力
学んで思わざれば則ち(すなわ)ち暗(くら)し。思うて学ばざれば則ち殆(あや)うし。

知識力と思考力の
2つの兼ね合い、
バランスが大切



平成26年度会員募集
k-kan@ksn.biglobe.ne.jp

身近な農を楽しむ

日本の和食が世界無形文化遺産登録
熊本の阿蘇が世界農業遺産登録

Rural environment

Vol. 34 May 2014 seikouudoku

□ **すがすがしい季節を迎え、皆様におかれましては
如何お過ごしでしょうか？**

奈良市内にある新薬師寺の摩羅羅大将
(国宝)は、薬師如来を守護する12神将のひとつで天部の神々とされる武神です。
(右図スケッチ参照)747年光明皇后が聖武天皇の病氣平癒を祈願して建立されたものです。新が付いているが、決して新しくなく、地元の方は「あらし薬師寺」と呼ぶそうです。奈良市内で開催された文化的景観の研修会に参加した折に訪れた古刹のひとつです。奈良の都は落ち着いたまちでした。(H/N)



切



◆ **名勝庭園「依水園(いすいえん) (奈良県)**
奈良県の庭づくり技法のひとつに消毒しない樹木剪定があると聞きました。京都では「すかす」。奈良では「きりもどす」と作法表現を使い分け、この「きりもどす」で庭を手入れすると鳥達が枝の間を通り、よく鳥が集まる空間ができると管理する庭師が語られたことが印象に残りました。



◆ 春の身近な草花

身近な環境を楽しむ

Human Architectur

後半のゴールデンウィークは何とか天気恵まれ、どこそこ行かれた方はご苦労様でした。農園では、夏野菜を植えたところですが、野菜は、収穫するまでのお世話の仕方でも変わります。草取りや害虫駆除が夏野菜の敵と言えます。人間にとっておいしいと感じる野菜は、同時に虫たちにもおいしい野菜です。
近年、無農薬野菜を好む人が増えてきました。出来れば農薬を使わずに害虫を避けたい傾向から「コンパニオンプランツ」が使われています。コンパニオンプランツとは、共栄作物とも呼び、近傍に栽培することで互いの成長により影響を与え共栄しあうとされる植物のことを指します。一汎汎用される植物ではマリーゴールドが有名どころです。※その他、ナス+ネギ、トマト+ネギ、キュウリ+ネギなど他にも多くの組み合わせがあります。
■マリーゴールドを植えた時の効果の例
・キャベツなどのアブラナ科野菜と混植すると、害虫のハムシ類を遠ざける。
・カボチャのセンチュウ類を遠ざけ、生を助ける。
・キュウリのアブラムシ・センチュウ類を遠ざける。
・スイカの病気を抑え、連作障害を防ぐ。(A/T)



マリーゴールド

「サラメシ」のある風景
(サラメシ:サラリーマンの昼食)
水俣市街から湯の児温泉への海岸通りにある岬公園。営業時途中の昼休みには、必ず立ち寄り季節の移り変わりを楽しみながら、愛妻弁当を開く場所となっています。公園からの眺望は八代海北部を一望でき、芦北地方のリアス式海岸・重なり合う天草地方の島しょ部や海上に横たわる御所浦の涅槃像が見渡せ、藍色の海には十数隻の打瀬船が陽光に帆をきらきら輝せながら優雅に風とともに流れる風景があります。公園内は低木の伐採により、楠・ヤもも・椿等高木の隙間からは海が垣間見える工夫と空間の広がりを感じられる中、小鳥の鳴き声や汐風に包まれ爽やかな気分になれるお気に入りの箇所となっています。(B/I)



景観を考慮した海岸道路

◆ **樹齢620年と伝えられる黒木の大藤に思う**
先日八女市黒木町へ見頃を迎えた大藤(右写真)を觀賞してまいりました。黒木の大藤は1395年、後征西將軍良成親のお手植えと伝えられ樹齢約620年とされており、現在もきれいな花を咲かせています。これは現在まで適切な維持管理がなされた賜物ではないでしょうか。社会インフラ整備に係わる我々も適切な維持管理を行い後世に残していくことが大きな責務と考えます。(K/N)



フジの花

五月は鯉のぼり!!

◆ **子どもの頃よく作ったシロツメクサの花冠。作り出すと手が不思議と動き出しました。娘と作る日がくるとは・・・
花言葉は「約束」(T/B)**

磋



平輪農園活動 ～セツ子ばあちゃんの農園講座～

Vol_1 スイカを育てよう♪♪ 5月3日スイカの苗植え
①本葉の下にある丸い葉っぱを落す
②少し深めに穴を掘り苗を入れる
※この時水をたっぷりと穴に入れる
③土をかぶせたら防風対策としてビニールと竹で苗を囲む
④1ヶ月ほしてツルがビニールから飛び出し始めたらビニール撤去の合図



スイカの苗



防風対策のビニール

温故知新 未来を想うティータイム

平輪農園に生えていたタンポポでお茶を作ってみました。作り方は葉や茎を洗って泥を落とし、干して乾燥させたものを鍋で数十分煮出して完成です。ほんのり薬草の香りがするお茶は、後味に少し癖がありますが予想より飲みやすいものでした。タンポポの根を焙煎して作るタンポポコーヒーは、戦後の食糧難でコーヒー代わりに飲まれたそうです。若葉はサラダ、花はワイン、根はコーヒーの材料になるタンポポは、来るべき食糧難時代に食卓に上るやもしれません。(K/S)



たんぽぽ茶↓

若葉を楽しむ

三愛レストランがある阿蘇方面でゴールデンウィーク後半、キャンプを楽しみました。天気には恵まれましたが、山なので朝晩はかなり冷え込みました。薪ストーブにあたりながら暖をとって1泊2日を満喫しました。左写真参照 (I/O)



我が家のエコカーテン

今年も夏の暑さ防止にゴーヤを我家の南側の畑に植え付けました。この緑のカーテンは、近年、エコカーテンとして、多くの家庭等で作られています。我が家では、20数年前から南側全体を覆うようグリーンカーテンを作ってきました。ここ数年は、家族が集まる場所だけに作るようにしています。当初は、朝顔、ふうせんかずら等を植えていましたが、この頃は管理のしやすいゴーヤ(苦瓜)を植え付け、実もご飯のおかずとして利用しています。おかげで冷房運転は、年2週間程で家計へもおおいに役立っています。上の写真は植付けたばかりですが、2~3月後はネット全体を覆いゴーヤも実っているグリーンカーテンを掲載したいと思っています。(Y/O)



←先生達おつかれさまです

3人がかりで1つの苗を...

↑土のベッドで一休み

身近な土木文化を楽しむ

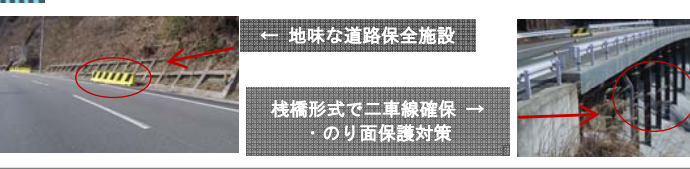
Civil Engineering

安全・安心な公園完成

昨年度自社で設計し、後に竣工した熊本市北区のあそだ公園に子供達を連れて行ってきました。(下写真参照)防災を兼ねた同公園は、住民意見を尊重した住民参加型の公園計画(ワークショップ)によりつくられたもので、地元の幅広い年齢層の人達に利用されており「遊ぶ」だけでなく、「守る」等の災害時における避難場所としても今後利用されていくと思料されます。
最近、子供達と遊ぶ時間が少なかったためか、はしゃいで走り回る息子と笑顔が絶えない娘の成長した姿を見て、心が癒されるとともに公園の必要性を強く感じました。(T/M)



二県を結ぶ国道の整備・管理の現状



← 地味な道路保全施設

→ 棧橋形式で二車線確保のり面保護対策

昭和30年代、新婚旅行のメッカとして全国的に有名となった背景には、宮崎交通創業者の道路舗装普及率向上への尽力があり、美しく・維持管理の容易な道づくりができました。今回、紹介するのは、隣県の宮崎県の道路管理状況です。上左写真は小崩壊に対応した移動式土留壁でのり面他に小渓流越流抑制に機能発揮、また同右写真は狭隘な山岳地では効果的な棧橋。路面は溝付きすべり止め舗装。これで維持管理と安全・安心が確保できます。技術者として参考になる道路と考えます。(H/N)

高千穂トンネルの面壁に注目



上のスケッチは、国道218号(ひむか神話街道)の宮崎県高千穂町にある高千穂トンネル(熊本側)延長419m、幅員10.3m、竣工1992年。面壁は有田焼で作られた坑門工です。数あるトンネル坑口部のデザインの中で地域性を上手く引き出し、しかも沿道景観と周辺地域との調和が絶妙に表現された坑門工と思います。一度訪ねてみて下さい。(H/N)

我が家の本田農園

昨年の春から「平輪農園」に参加し、休日の時間を利用し、地元のおばあちゃんに手ほどきを受け、種まきや手入れ等の体験から収穫や知人に御裾分けする際の喜びを見つけることができ、作物を手がけるきっかけになりました。今年から我が家の農園も、親戚の叔父さんや叔母さんに教わりながら、嫁さんと二人で開園することになりました。右上写真は、4人で半日かけて作った畑にキュウリ、ナス、ピーマン、インゲン、ミニトマト、オクラ、葉味ネギ、紫キャベツ、ラッキョウ(会社から移植)であり、夏を迎えるのが楽しみで、毎朝眺めています。農業土木への貢献をここから始めたい(K/H)



◆後記:熊本県内には、スケッチや写真に残したい風景や美味しい・懐かしい郷土料理等があります。まだまだ、気をつけて見るとビューポイントや歴史の重みを感じる文化的景観などが資源が沢山残されています。上記O内の四文字「切磋琢磨」は、お互い励まし競争し合って、共に向上することという意味合いです。今後皆さんへ地域の良さや文化などを紹介していきたいと考えています。この晴耕雨読は10名の投稿者の協力で作成しました。